

プレス加工における“われ”・“スプリングバック”の発生メカニズムとその対処法

日時
2018年 4月17日（火）
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室（東京都千代田区富士見1-5-1）

税込受講料

1名 48,600円

2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線（緩行線）
地下鉄東西線（A5出口）
地下鉄有楽町線・南北線（A4・B2a出口）
都営地下鉄大江戸線（A4出口）

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先（TEL・FAX・E-mail）をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。（個人申込除く）
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講座のポイント

プレス加工における

- ・材料試験の基礎と塑性変形特性の評価法を習得
- ・「われ」の発生メカニズムと対策技術を習得
- ・「絞り」の解法と向上策を習得
- ・「曲げ」の解法とスプリングバック評価法を習得

講師

東京農工大学大学院 工学研究院 先端機械システム部門
教授 工学博士 桑原 利彦 氏

内容

- ・プレス成形における変形様式の分類
- ・材料試験の基礎と塑性変形特性評価
1. 単軸引張試験 2. 2軸応力試験
- ・プレス成形における“われ”の発生メカニズムと対策
1. スクライドサークルテスト
2. 成形限界線図(FLD) 3. 成形限界ひずみのひずみ経路依存性
4. 破断回避の対策技術 5. 成形限界応力線とその活用法
- ・絞り
1. 絞りの概要 2. 絞りにおける材料の変形
3. 絞りにおける応力の伝達と絞り性の向上策 4. 絞り比と絞り率
5. 絞り加工に影響を及ぼす因子
6. 円筒絞りの初等解法
- ・曲げ
1. 曲げにおける板の変形と応力状態
2. 曲げの初等解法
3. スプリングバックの計算
4. スプリングバックの対策技術
5. 引張曲げによるスプリングバック評価法(JIS H7702)

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問について解説致します】

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675

<http://www.ebrain-j.jp/>

E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書

セミナーコード

プレス加工におけるわれ・スプリングバックの発生メカニズムとその対処法

1101-180417

太枠内をご記入の上FAX（03-3264-5675）してください。

2018/4/17 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課（正式名称）	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				